

# ルルドの丘

2019  
5月  
No.44



社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ

訪問看護あんな



# みことば

## “どちらも最高”

バラにはバラの美しさが、タンポポにはタンポポの美しさがあります。  
どちらもすぐれていて、どちらが劣っているということはありません。  
どちらも最高に美しいのです。

片柳弘史神父さま

# きらりん

## コミュニケーションの取り組み

見学者や実習生から、入所利用者と支援者のコミュニケーション方法に関する質問をよく受けます。その人その人に合った方法で行っています。支援者が入所利用者に発信して確認していく形、また入所利用者から発信される発声やサイン、身振り等を理解する形があります。その他に意思伝達装置があります。コミュニケーション支援の機器の一つです。この機器はパソコンや専用の端末機を用いる等、使い方もパッド式スイッチから視線、生理的な現象を利用する等、多くの種類があります。恵の聖母の家では、「伝の心（でんのしん）」を用いて、入所者と他者とのコミュニケーションを図っています。使い方もいろいろです。詩が好きな人は、文章を打って今感じていることを文字に残したり、定期的に知人にメールを打って、自分の近況や気持ちを伝える人もいます。昨年はボランティア公演の終わりにお礼の言葉として、入所利用者が伝の心を使いました。音声発生装置がついているので、スピーカーを通して、広い場所でも、全員に自分の気持ちを表すことができました。もともと、この装置は、障害があっても、「周囲に文章を作って気持ちが伝えられる」「写真や絵を使って気持ちを表現できる」「テレビやDVDを自分で操作して鑑賞できる」「ゲームを楽しむことができる」、そして「電気やテレビ等、生活用具を操作できること」を目的としています。現在、恵の聖母の家で行っている取り組みは、まだまだ僅かですが、これからも入所利用者の生活の質を高められるように取り組んでいきたいと思っています。尚、意思伝達装置は、国の障害福祉サービスでは在宅、入所に関わらず「補装具費の支給対象品」として、「重度障害者用意思伝達装置」になっています。実際に試した上で購入することも可能です。また市町村では、地域生活支援事業の中の「日常生活用具給付事業」で「情報・通信支援用具」となっています。いずれも補助があります。市町村の場合は在宅や肢体不自由等の条件がありますが、関心のある方は購入前に市町村の福祉課へお問い合わせ下さい。

生活福祉課主任 廣田 由美子



< 伝の心を使って感謝の言葉を伝えました >

# 巻頭言

施設長 佐藤 圭右

ここしばらく、「働き方改革」という言葉を耳にするようになりました。これは、みんなが気持ちよく働き、自己実現できる環境を作ることだと言われています。すなわち、ワーク・ライフ・バランスの適正化、残業時間の減少、自分が働きたい時間に働くという選択ができるようになり、自分らしい人生を送ることができるといえるでしょうか。

そうは言っても、私たち、医療・福祉の業界では、利用者さんの自己実現こそを支援の目標にしています。なかなか自分たちの都合に利用者さんを合わせるのも難しいと思われまます。事実、医師の残業時間の上限は、その他の職種の二倍ほどに決められています。医師の労働環境については、当直なども含め、もっと言いたいこともあります。それはここでは触れないでおきます。

もっとも、医師以外は、恵の聖母の家では残業することがほぼなく、定時に帰宅できるようです。それでも、有給休暇の取得はどうでしょうか？ これは、人数が多い部署では比較的取りやすいのですが、人数が

少ない部署では、なかなか取れないようです。それでもこの四月以降は、年十日以上の有給休暇がある職員は、全員五日以上消化することが、企業に対して義務付けられるようになりました。恵の聖母の家でも、全部署で互いに協力して、有給休暇が取りやすい環境を整備しなければなりません。

☆

それもあってと言うことではありませんが、私事でありますが、この春に、家族旅行のための休みを取りました。それは、「子どもとできる家族旅行はこれが最後かな？」という気持ちからです。今春から息子は大学生になり、他県で一人暮らしを始めます。

思い切った初めての家族そろっての海外（ハワイ）でした。「日本語も結構通じるよー」という旅行通の友だちの情報を信じて出かけました。確かに、ホテルのフロントでも日本語で迎えてくれました。しかし、ツアーに入らず、飛行機もホテルも自分たちで予約した旅行です。「初めてなのに、よくそんなことしたね。」と後から言われました。確かに、右も

左もわからず、ガイドブックを見ながら、行き当たりばったりの旅行です。食事もレストランに適当に入って注文しましたが、ウェイターの人たちはそんなに日本語が通じません。そんな中、意外に息子が会話できているのには驚きました。

今回の旅行では、「ハワイに行こう。」と家族で決めましたが、ハワイのどこに行きたいかは子どもに提案させました。息子は戦記物が好きだったこともあり、真珠湾に行きたいとすることで、インターネットで調べたり、わからないことは直接メールをしてみたりで、彼なりのツアーを決めました。ただたどしいところはありましたが、家族で息子について行って、バスに乗り、どこで降りるのか運転手さんと話し、真珠湾のビジターセンターでチケットを買い、目的としたい施設を回ることでできました。自分も英語を聞き取るうとしましたが、さすがに入試を終えたばかりだからか、息子の方がよく聞き取れていました。

これまで、息子のすることがもどかしく、ついつい手を貸してしまし

たが、今回のことで改めて、自分で調べて行動することができるようになっていたことに驚かされました。まあ、十八歳なら当たり前でしょうが。

☆

自分の尊敬するある施設の長の先生から、「施設長は、施設の中にずっといてはダメだよ。ちよくちよくさぼって抜け出して、下の人に息抜きをさせなきゃ。そうすることで、下の人には任された、と思って、自分たちでするようになるんだから。」と教えを受けたことがあります。息子と職員さんを一緒にはできませんが、あまり細かく口を出すよりも、思い切っ

て任せてみるのも大切なんですね。

さあ、働き方改革。「自分は今シングル、なるべく休んで、皆さんに任せていきたいと思えます。」って、言いたいのですが(笑)。

たが、今回のことで改めて、自分で調べて行動することができるようになっていたことに驚かされました。まあ、十八歳なら当たり前でしょうが。





## ご挨拶



### 労働と朗働

事務長 松浦 紳一郎

「労働とか労働者とかいう言葉が気に入らない。働はいいけど、労のほうが悪くない。『労』というのは、苦労、疲労、徒労、心労など、ろくな使い方をされていない。どうせ働くなら苦労なく働きたい。働いた結果が徒労にならぬように働きたい。だから、皆さん、労働ではなく、朗働といきましょう。気分も晴れ晴れと朗（ほが）らかに働きましょう」

これは二十数年前、今では死語になった「半ドン」から完全週休二日制に移行し始めた頃に、「働く事の意味」をテーマにした講演会でのスピーチです。現在、完全週休二日制は当たり前となっていますが、労働環境は超過勤務労働や少子高齢化による人手不足など、様々な問題を抱えています。

そのような状況において、労働環境条件を整備すべく、今年四月から働き方改革が施行されることになりました。これにより個々の実情にあったワークライフバランスが実現していくかもしれません。

収入さえ同じなら、「休みが多くなり、労働時間は短ければ短い方が良い」と誰もが思うことでしょうか。休みを多くすることは大切なことに違いありませんが、「喜びをもって働く、そんな状況を作り出す工夫」も重要ではないでしょうか。

いずれにせよ、数年後には新たな労働環境の問題点が発生するかもしれません。そのような労働環境そのものと、労働、それ



自体の意義は別です。いくら休みが増えても、苦労や疲労ばかりを伴う「労働」であれば、皆避けてしまおうことでしょうか。制度も大事ですが、働くことの意義や喜びをもつ一度見直すことが必要ではないでしょうか。意義のある、喜びを感じられる働きならば、心の中で自然と「労働」が「朗働」になるのではないのでしょうか。

## ご挨拶



### 間違った学びを

していませんか？

相談支援事業所「こころ」 所長 井上 勝己

新年度へ向けての取り組みとして、平成三十一年一月より、社会福祉士の有資格者が相談支援員として加わりました。高齢者の実務及びソーシャルワークを実践してきた男性職員です。現在、障害児者の計画相談の実務を学んでいる状況です。

さて、計画相談支援・障害児相談支援における質の高い事業所の評価として、①一律的に標準期間に沿ったモニタリングの変更が不十分な点、②相談支援専門員一人当たりの支援件数に大きなバラツキがあること、③事業所の質の評価として特定事業所加算が存在するが、個々の支援に着目した加算が存在しないこと、これらの課題を見直すこととなりました（紙面の関係上、資料添付できなくてごめんなさい）。今後は、三名の相談員で、障害児者の計画相談を運営してまいります。

「恵の聖母の家」では、医療による発達外来の診療・療育に力を入れています。乳幼児から就学前までが主な対象です。当然、てんかん発作や肢体不自由・医療的ケアが必要・服薬が必要な児者と様々なケースの方の継続的な訓練や治療が行われています。

私たちは、発達が気になる乳幼児の早期発見・早期療育の観点から、巡回療育相談や保育所等訪問支援のサービス提供を実施中です。医療に繋がった場合には、外来訓練（個別）から小集団（集団）へ移行し、発達の療育・運動・認知・社会性・学習能

力・注意—行動コントロール・言語能力・微細運動—その他から保護者や園の先生などと意見交換を行い、幼児の成長を喜んでいます。また、「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例」が平成二十八年四月一日に施行され、当然、「合理的配慮」の推進も行われていますが、「合理的配慮」を主張するあまり、誤った主張（学習）との整合性が難しいところがあります。ある研修で「誤学習」ということばを学びました。この「誤学習」ということばの意味をご存知でしょうか？これは、健常な子どもにも言えることです。

↓ご飯を食べないから  
↓大好きな唐揚げを与える  
おもちゃを欲しがる（泣く！騒ぐ！）  
しゃやくを起す！  
↓おもちゃを買ってあげる（大人しくなる）

このような状況、身に覚えがないですか？  
いろいろな場面で《誤学習》を学んでいます。特別扱いされることを学びます。どうでしょうか？  
この誤学習は、家庭や保育園、幼稚園などでも見られているのではないのでしょうか？一度振り返ってみては：  
どうでしょうか？





## 訓練課



### お気に入りの言葉を胸に

理学療法士主任 樋口 奈菜美

理学療法士免許を取得して、早くも十二年目に突入しようとしています。

私が恵の聖母の家に就職した頃の訓練課は、私を含め理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）全部で六名でした。それが現在ではPT五名、OT五名、ST四名となり、全部で十四名と大所帯となってまいりました。また、うれしいことに二〇一九年度にはOTがさらに二名増えました。職場環境も就職した頃と違って、現在はPT室、OT室、ST室とそれぞれの職種が分かれて訓練を実施しています。当たり前のように感じるかもしれませんが、当初はPT、OT、STの全職種がひとつのホールを使って、それぞれが訓練を行っていたのです。今考えると、「よくやれていたな」と思うところがあります。それはそれで、「どつやつたら子どもたちの興味をひきつけておけるか」を必死に考えながら、訓練プログラムを立案していたことを思い出します。

当時の私は経験年数も浅く、若造で、先輩方の力を借りながら、支えられて毎日の業務を行っていました。しかし今では上から数えた方が早くなるなど、年々後輩も増え、立場も変わってきました。また、二〇一九年度からは理学療法士主任という役職を務めさせていただくことになり、より一層、初心にかえりながら、「働きやすい環境作りやチーム力を高めていくこと」を目標に取り組んでいきたいと思っています。

最後に私のモットーです。それは「元気でいること」。

「理学療法士は元気が一番！」

私の尊敬する理学療法士の方がよく口にされる言葉です。私もこの言葉が気に入って、今ではモットーと言える程、この言葉を胸に日々仕事をしています。

様々な疾患をもった子どもたち、そしてそのご家族の困りごとや心配ごとが少しでも軽減できるよう、寄り添いながら、私にできることを最大限努めてまいりたいと思っています。



## 生活福祉課



### 長所を活かして

介護福祉士主任 河野 朋子

しかし、自分が「やる」と決めたことなので、今まで自分が皆さんに助けてもらったように、今度は私が皆さんの支えや助けになれるように努力していきたいと思っています。また、私の長所は、明るさと声の大ききなので、この二つを活かし、病棟を「明るく、楽しく過ごせる場所」にしたいらと思っています。

慣れないことも多く、皆さまには大変、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。



工業高校から福祉の世界に飛び込み、二十三年が経とうとしています。この仕事がかかった子どもを皆で支える映画をみたこと、また祖母を介護する母親の姿をみたのがきっかけです。家族に話した時に、はじめは「自分のこともきちんとできないのに人のお世話ができるわけがない」と反対されましたが、家族に自分の思いを伝え、理解し、応援してくれました。また、当時は工業高校から福祉の仕事に就くことが珍しく、進路担当の先生もかなり驚いていましたが、私の為にハローワークまで行き、恵の聖母の家を探してくれました。そのおかげで、恵の聖母の家に就職することができ、今に至ります。

はじめは、家族の言った通り、何もできず、わからないことばかりで戸惑い、利用者さん、ご家族、職員にもご迷惑をかけてばかりでしたが、利用者さんの笑顔や、ご家族の方からの温かいお言葉、いつも優しく見守ってくれた職員の方々のおかげで、ここまで続けてくることができました。そして、二〇一九年度は四月一日付で、生活福祉課の主任として、仕事をさせていただきますことになりました。

私は今まで、人に支えられ、人に助けてもらいながらここまで来ることができたと思っているので、これからリーダーとして、自分が支えとなり、引っ張っていくことができるのか、正直、不安の方が多いです。

永年勤続表彰 3月5日 病棟ホール

当施設に永年に亘って職務に専念し、福祉向上に大きく貢献した職員を表彰しました。今年、30年勤続が1名、10年勤続の5名が表彰されました。これからもよろしく願います。



第41回九州地区重症心身障害研究会 3月9日

九州大学医学部百年講堂で開かれました。当施設からは、「療育活動支援」のセッションで、保育士が「制作グループの利用者の自己実現を目指した展示・交流活動」について発表し、ご意見をいただくことができました。また、参加した職員も、「高齢化する利用者 に合わせた支援」等、参考となる発表があったり、自分たちが行っている支援の位置確認ができ、今後につながる研究会となりました。



恵アカデミー賞 3月14日 2階会議室

各部署や委員会などの年度の取組や結果などが共有できる場・施設全体を元気にしていく場・日頃地道にやっている縁の下の力持ちを紹介する場等として、今年も恵アカデミーを開きました。今回は「児童発達支援センターめぐみの紹介」「入所児の成長の様子～発達と関わり～(生活福祉課)」「ノーリフト推進委員会のあゆみと今後(ノーリフト推進委員会)」「栄養課ってどんなところ(栄養課)」以上4つの発表がありました。各部署の取り組みや業務が理解し合える時間となりました。



定年退職者功労表彰式 3月29日 病棟ホール

平成30年度をもって退職される職員に感謝を込めて、感謝状が贈られました。副施設長から、「挨拶等で恵を明るくしてくれた」「きちんとした計画を立てていた」「陰で色々支えてくれた」等、一人ひとりの良さが紹介され、仕事を支えてくれたご家族にも感謝と労いの言葉が贈られました。



復活祭ごミサ 4月21日 地域交流ホーム

地域交流ホームで恵の聖母の家、潔き聖母の家の方、他関係者とお祈りを捧げました。ミサの中で神父様から「スリランカの子」の話もあり、被害にあわれた方への祈りも捧げました。



ご寄附 2019年4月

4月下旬、恵の聖母の家に、絵本やお話の本50冊とそれを収めるラックが届きました。贈り主は匿名希望の方で、「大分のヨセフのおじさん」とうかがっています。ステキな贈りものをありがとうございました。



2019年度恵の聖母の家活動予定

Calendar table for 2019 activities at Mother's Home. Columns: 月 (Month), 日 (Day), 曜日 (Day of Week), 内容 (Content). Rows include various events like outdoor therapy, family events, and Christmas celebrations.

※予定変更の場合があります。

クリスマスの集い 2018年12月8日 地域交流ホーム

白杵ウインドアンサンブルの皆さま、そして白杵ハーモニカクラブの皆さまによる演奏で、楽しくにぎやかに過ごすことができました。聖劇はスクリーンを使って、子どもが大切なものに気づくお話でした。クリスマスの意味を感じた方も多かったと思います。ボランティアとして、白杵高校、藤華医療技術専門学校看護科、傾聴ボランティアの皆さまの参加とご協力があり、白杵ハーモニカクラブの皆さまからは、ハーモニカをいただきました。ありがとうございました。



お正月 2019年1月1日 病棟ホール

今年も元旦に入所利用者がホールに集まって新年の挨拶を行いました。挨拶の後には、干支の「亥」の説明、年男、年女の紹介がありました。また、お囃子に合わせて登場した獅子舞が賑やかに舞い、それぞれ記念写真を撮って楽しみました。続いて羽織袴の職員が皆にお屠蘇をついでまわり、この一年の無病息災を願いました。その後は各棟ごとに、カルタ大会、凧揚げ、かくし芸、二人羽織等が行われました。大いに笑って、今年もたくさん福が来そうな年明けとなりました。



2019年度児童発達支援センターめぐみ活動予定

Calendar table for 2019 activities at Center Megumi. Columns: 月 (Month), 内容 (Content). Rows include spring activities, Mother's Day, Father's Day, and Christmas events.

※支援学校等実習生受入れ月(6月、11月、1月) ※予定変更の場合があります。

体験実習(児童発達支援センターめぐみ)

センターめぐみでは、利用される方の生活の質が高まるように、創作活動やレクリエーション、地域参加等を提供しています。毎年、6月、11月、1月はセンターめぐみの体験実習期間です。卒後の進路の一つとして、支援学校から高等部2年生が実習に來ます。昨年度も1月中、高校生3名が実習に來ました。体験実習の方にもセンターめぐみの雰囲気、生活介護の利用者と一緒に活動に参加してもらいました。今回は、「引っ張る」「はめる」等、一人ひとりの力が活かせるレクリエーションを行いました。(詳しくは8頁をご覧ください。)



還暦のお祝い 2018年10月30日

入所利用者の還暦のお祝いを行いました。お祝いする方法について、成年後見人に事前に相談したところ、「日頃なかなか口にしない食事をするのも良いのでは?」「白杵であれば河豚でしょうね」という提案がありました。そこで、白杵石仏の散策と河豚をいただく計画を立てました。移動には、当施設が行っている「ふるさと訪問活動」を利用し、福祉タクシーで出かけました。お天気も良く、散策では石仏群や咲いている季節の花々を楽しみました。昼食は、お庭が見える静かな和室で河豚ミニコースをいただきました。一口ごとに、いつも以上に美味しく、味わっていました。笑顔もたくさん見られた還暦のお祝いとなりました。



秋のふれあい会 11月25日

隣接する姉妹施設潔き聖母の家で文化祭が開かれ、車椅子ダンスのメンバーが地域の方々に「若い広場」「マイムマイム」のダンスを披露しました。お天気も良く、出演前は緊張していた人も職員の声かけで落ち着き、本番では笑顔で楽しく踊ることができました。出演後は、会場の出店でご家族と買い物を楽しむ等、秋の一日を楽しみました。



歳末たすけあいチャリティショー 2018年12月2日 日曜日

野津中央公民館で開かれ、恵の聖母の家も車椅子ダンスで出演しました。舞台上上がると、皆、表情が良く、応援にきたご家族や職員の声援に笑顔や合図で応えて、会場をわかせていました。出演後は、ロビーでご家族と記念写真を撮る等、楽しい時間を過ごしました。



施設外療育白杵マルショク 2019年3月28日 木曜日

吉四六ランドにお花見に行く予定でしたが、雨模様のため、白杵マルショクの買い物に変更して行きました。入所利用者5名が参加しています。出発すると、表情良く、車内から周囲を見回して楽しんでる人もいました。店内には色々な商品や香りに、日頃入眠傾向にある人も楽しそうに過ごしていました。買い物では、衣類を示されたり、胸に当てられると笑顔を見せて、嬉しそうにする人等、それぞれに買い物をしました。



全体研修 2018年12月6日

法人内の各事業所が参加する法人研修で、西南学院大学の倉田先生の「サービスの質の向上に向けての苦情の活かし方」の講義がありました。当施設でも活かすために、「利用者様からの要望や苦情の事例と苦情解決の仕組みについて」のテーマで、全体研修を行いました。少しでも相手の気持ちに寄り添えることを目的に、グループ討議やロールプレイを行い、精神誠意応えることや、日頃からの信頼関係の大切さを学びました。





▼各部署の声です。今年度の目標は「[親愛]—親の心のような与える愛を—」です。

## 児童発達支援センターめぐみ

### でけいじり

#### ◆クリスマスの集い 十二月八日(土)

地域交流ホームで行われ、生活介護、放課後等デイサービスの利用者者の参加がありました。臼杵市ハーモニカクラブの皆さま、臼杵ウインドアンサンブルの皆さまの素敵な歌声や演奏で、楽しいひと時を過ごすことができました。聖劇では、放課後等デイサービスの利用児が急ぎよ代役に抜擢されましたが、無事に天使の役を演じることができました。会の最後、放課後等デイサービスの利用児が、巻き物を支援者と一緒に上手に引くとおわりの言葉の文字が現れ、楽しかった会を締めくくってくれました。

#### ◆助成金

昨年、「NHK歳末たすけあい募金」さまから助成金をいただき、大型スクリーンとジャンボサイコロを購入しました。ジャンボサイコロは、十二月二十六日のレクリエーションで使いました。サイコロの感触を確かめながら、それぞれが大小を選び、「出た目の数が大きければ勝ち」というルールで楽しみました。「NHK歳末たすけあい募金」さま、ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



<ジャンボサイコロでレク!>

#### ◆正月遊び 一月四日(金)

新春を迎え、正月遊び「福笑い」を行いました。スタッフのみ目隠しをして、利用者目や鼻の位置を確認しながら挑戦したり、利用者、スタッフ両者ともに目隠しをして挑むなど、笑いの絶えない時間になりました。最後は、できあがった「福笑い」と一緒に全員で記念写真を撮り、「初笑い」を楽しみました。

#### ◆今年の抱負 一月七日(月)

利用児者の最近の様子や好きなこと、連絡帳等をもとに、初夢や干支をイメージしながら制作活動として、今年の抱負を一人ひとり考えました。今年も良き年となりますように!!

#### ◆現場実習体験

一月十五日〜二十四日(大分新生支援学校二年生三名)、一月二十一日〜二月一日(臼杵支援学校二年生二名)の生徒がセンターめぐみで現場体験実習を行いました。普段の学校生活とは違つと、環境の変化を感じている方、少し緊張気味な表情の方、担任の先生と指文字で会話し、実習に真剣に取り組む方など、生徒一人ひとりがそれぞれの目標に沿った実習ができました。



<現場実習お疲れさまでした!>

#### ◆豆まき 二月一日(金)



<最後は鬼さんと記念写真>

無病息災を願って節分の豆まきを行いました。鬼に扮したスタッフが二体登場すると、一斉に「鬼は外、福は内」の掛け声が上がりました。最後に全員で鬼と一緒に記念撮影をして節分行事を楽しみました。

#### ◆ひな祭 三月五日(火)

中国の思想の「桃が邪気を祓い長寿を保つ」や、日本の儀礼の「人形を草や藁で作り身体を撫でることで穢れを移し、災厄を祓った」が起源とされています。センターめぐみでは、数ある着物の中から、その方に合った着物を選び、お雛様になっていただいて記念撮影をしました。綺麗な衣装にうっとりとした表情をみせる方もいて、終始華やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことができました。

児童発達支援管理責任者 竹尾昭彦

## スタッフから

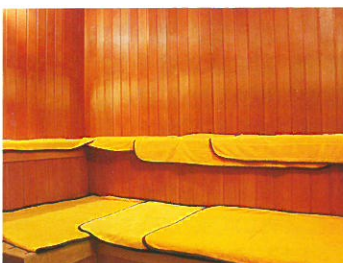
### ひとりごと

介護福祉士 甲斐 浩一

皆さんは、休みをどのように過ごされていますか?私の場合は温泉です。森町の高田の湯に行ったり、明野のアサヒ温泉

等に行ったりしています。料金もそれぞれ三百五十円から五百円ほどです。温泉に行き、サウナが好きなので、三回ほどサウナに入って汗をかいています。気分がすっきりしてとても気持ちが良いです。また、今の温泉は種類が多いですね。身体がきつい時は、電気の湯に入ったりして、身体を癒しています。ただ、この電気風呂ですが、強めに入ると、ますます身体がきつくなるので、あまりお勧めできません。お風呂あがりには、お茶を飲んで一息ついていきます。

病棟からセンターめぐみの業務に移って、今年の四月で早三年が経ちました。早いものだなと思います。センターめぐみは、児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護、保育所等訪問支援が行われています。私は、その中の生活介護の業務をしています。病棟勤務の頃は介護福祉士として、施設外療育を担当していました。別府のりんご園とか、患の聖母の家から少し遠くまで出かける計画を立てたこともありました。当時の施設外療育のやり方が懐かしく感じられ、楽しかったできごとともよみがえってきます。あれからウン十年になり、職員もいろいろ代わりました。そして今年も患の聖母の家に新人さんが入りました。新人さんには、「好きなことをやったら良いよ」「のびのびと働いてね」と、言っておあげたいと思っています。





## ご挨拶



よろしくお願ひします

総務課長 絹川 忠

さて、ルルドの丘の原稿依頼が某氏より  
久々にきました(望んではいない...)。前  
回は、私も編集委員をしていた時に書いた  
ので十五年以上前の話になります。その時  
はそれなりに初々しい原稿ではなかったか  
と思います。今回の原稿では経験も積んで  
いることで、読んでみて賢く感じてい  
ただける原稿を書いてみようかと考えてみ  
たのですが、どうにもこうにも思いつきま  
せん。ということでプライベートを切り売  
りすることにしました。

私は九年程前に結婚しました。その時、  
「私と行動する以外の趣味を持って!!」と言  
われました。ひよっとして!!少し!!鬱陶し  
かったのか!!奥さんの趣味のカテゴリーに  
「ゲーム」や「漫画」は当然入ってこない...。  
私は「人付き合い苦手」「方向音痴」「運動  
音痴」という苦手なものがあります。つま  
りそんな人が例えば山にでも登ろうとしよ  
うものなら、一人で登って・道に迷って・  
崖から落ちこちる...、などということにな  
るので趣味は限定されます。

そんな私ですが、諸事情により昔から欲  
しかったバイクの免許を取得することにな  
りました。バイクでの一人旅を「方向音痴」  
はスマホで解決、「運動音痴」は安全運転  
で解決?することにしましたが、どうやら  
バイクは乗ることよりもイジることの方が  
好きであることが判明しました。

あまり乗ることが判明しました。  
洗車や諸々のメンテナンスをする日々を過

ごしていましたが、とある職場の先輩ライ  
ダーとツーリングを一緒にすることになり  
ました。その先輩ライダーは、海でも山で  
も道に関しては詳しく、特に山道に詳し  
く、大好きな様です。そしてカーブがい  
つが重なる、いつの間にか私の視界から  
消え去る特技があります。もちろん事故  
ではありません。しかし、私にとっては  
ちょっととしたマジックをみているよう  
です。季節を感じながら走り、おいしいもの  
を食べる。たまには一人ではなく、誰かと  
走るのも楽しいものです。

「恵ツリーングクラブ(仮)」は、退職者  
で人数が減ったり、家庭の都合やバイクの  
都合によって来れない人がいたり...。そも  
そも私が勝手に命名しているクラブであ  
りませんが、興味のある方は声をかけて  
ください。

最後になりましたが、冒頭に登場した某  
氏より「課長になった」という文章を入  
れてくれ!!」と依頼がありましたので、挨  
拶を...。今年度より総務課主任から総務課  
課長へ役職がかわりました。身  
に余る役職につ  
きましたが、励  
んでまいります  
ので、よろしく  
お願いしま  
す。



## 看護課



## 節目

看護師 富成 大祐

私が恵の聖母の家に入職して、早いもの  
で九年が経ちました。四月から十年目突  
入です。この九年間で長男、次男という  
怪物?が生まれて家族も増え、賑やかな  
日々を送っています。まだまだ気持ち若  
いつもりではいましたが、気づけばアラ  
フォー。徐々に白髪も増え運動不足からな  
のか、何もない所でつまづき、肩をドアや  
壁でぶつけ、いつの間にか青あざができる  
等、身体の衰えを感じる今日この頃です。

年号も変わる今年。私的にもちよっとし  
た節目の年です。先ほど述べたように入職  
十年。そして、八月で結婚十年。子どもた  
ちを通して八年通った保育園も、次男が小  
学一年生になるので卒園します。八年通  
った保育園とのお別れは、子どもたちの成長  
が感じられ、とても嬉しい反面、寂しくも  
あります。保育園は家から離れた所にあり  
ました。卒園したら友だちとはお別れにな  
ります。次男も新たな生活が始まります。  
小学校に上がった友だちが作れるか、不  
安もありますが、子どもは親が考えている  
よりも柔軟です。長男は小学校に入っ  
てきた友だちから誘われ始めた野球を、今も  
楽しくやっています。長男の時は不安があ  
りましたが、すぐに友だちができたので、  
次男に対しては、長男の時ほどの不安はあ  
りません。

先日、長男の学校の授業で、成長アルバ  
ムの制作がありました。本人の誕生から現  
在までのことを、写真をもとに家族にイン

タビューする内容です。各年代を振り返る  
ために写真を見ていたら、ついつい脱線し  
てビデオを観たり、家族で思い出を振り返  
る会になりました。乳児期には早く成長し  
てくれないかなと思っていました。今と  
なると何か言う、「わかっちゃよん。後です  
るんや」と反抗的に...。叱ると「はい、は  
いごめんなさい」とちよっとイラツとす  
るいい方をしたり...。成長するにつれ小さ  
い時は素直で目がキラキラ純粋で可愛かつた  
なと思ったりもします。今も変わらない所  
は甘えん坊なところ、地団駄を踏む怒り  
方、悪戯する時のにやけ顔です。それを見  
るとツイツイ笑ってしまいます。子どもも  
成長途中なら親も同じ...。

一緒に成長し、いつまでも子どもから好か  
れる親でいたいものです。アラフォーの身  
体ともうまく付き合っていこうと思います。







## 保護者の皆様から



### 楽しみな♡恵の聖母の家通い♡

いち母親より

私の息子は、3人兄弟の3番目で、今6歳です。上の子たちとは、歳の差があって、身近に同じ年齢の子がいない中で育ちました。訓練を受ける前、「サシセソ」が「タチツテト」のように聞こえたり、平仮名が読めないといった面がありました。でも、その時は、「経験不足かな」とか思っていました。また、「息子はちょっと幼いかなあ?」「2月生まれだしなあ」と、それほど不思議には思っていないでした。ただ、どもりがあったので、それが少し心配でした。でも、そんなに心配はしていなくて、「経験不足かな」「様子をみよう」と思っていました。

恵の聖母の家の訓練を受けるようになったのは、幼稚園の先生から、「他の子に比べるとちょっと違うようなので、恵の聖母の家に通ってみませんか?」と言われたのがきっかけです。それで、平成30年の7月から、OTとSTを受けるようになりました。恵の聖母の家に行ってみると、「いろいろな子がとっても楽しそうに、のびのびとしているのがすごく良いな」と思いました。息子も訓練を受けるのを楽しそうにしている、次に行く日をとても楽しみに

にしていました。

訓練を続けていくと、くによくにやしていた姿勢がだんだんと良くなり、受ける前と比べると、目を見張るほど、良くなったのにびっくりです。受けている時も、とっても楽しそうで、「次はいつ行くの?」って、幼稚園に行くご褒美みたいに喜んでます。家では、「次の訓練の前までにできるようにしたい」と言って、ハサミの使い方や「あいうえお」の言葉の練習を、自分から進んで行っています。

幼稚園には、保育園の頃に、友だち遊びに慣れている子もいれば、一人で過ごす子もいました。息子も一人で過ごす方で、以前はどのように(関わっていいのか)わからなかったようですが、今は自分から「遊ば!」と言えるようになり、とても楽しそうにしています。母親としてもほっとしています。

訓練を受けて、初めは「訓練とは何かな」と、あまりわかりませんでした。しかし、こんなに体幹がしっかりしたことや、身体の使い方などが、訓練を始める前と比べて、明らかに違うことにびっくりしています。とてもやさしい訓練の先生方、そして職員さんたちに感謝でいっぱいです。4月からは小学校にあがるので、訓練はもうすぐ卒業になりますが、通って本当に良かったと思っています。ありがとうございました。

訓練や療育と言われると、ちょっと構えてしまって、悩まれる方もいると思いますが、「一度児童館に遊びに行く」って感じで行ってみて下さい。「療育」のイメージがガラッと変わると思います。私がそうでした。もっと早く来ればよかったって思いますよ。

## 支援学校訪問教室



### 新年度の挨拶

大分県立臼杵支援学校  
校長 川野 克浩

「恵の聖母の家」の園内報「ルルドの丘」の読者のみなさん、こんにちは。大分県立臼杵支援学校長二年目となりました川野克浩です。

今年度、臼杵支援学校の訪問教育対象者は、小学部三年生・中学部二年生の二学級二名の児童生徒さんとなりました。本校から二人の教員がお邪魔をいたします。小学部は亀山栄子、中学部は衛藤理恵子です。昨年度も伺っていたメンバーです。どうかよろしくお願いたします。

昨年度一年間、始業式や終業式の度に、下手な校長挨拶を何度となく繰り返してまいりました。拙い挨拶で大変申し訳なく思っております。「恵の聖母の家」の方々には、毎回、ご参加いただき、式を盛り上げていただいている

手前、面白い話・興味を持っていただけ話を提供しようと、音を出してみたり、画像を提示したり、あの手この手を繰り返してはいますが、最近では手詰まり状態です。あまり期待をせずに参加していただけると私も心が休まります。

さて、「恵の聖母の家」における訪問教育の児童生徒さんは二名ですが、臼杵支援学校の今年度の児童生徒総数は、総勢三十八名となりました。昨年度末より二名の減少です。特別支援学校の在籍数は現在、どの学校も増加しているのですが、本校はやや例外です。人数的には淋しい部分もありますが、その分、子ども一人当たりの教室面積は県内随一の広さを誇ります。のびのびとした教室環境の中で、子ども一人一人の能力と可能性を最大限引き出せる教育活動をしていきたいと考えています。

平成という元号もあとわずか。新しい元号「令和」の元年が始まります。ラグビーワールドカップも開催されますね。実りのある楽しい一年間になることを期待しています。

「恵の聖母の家」の皆様には、常日頃より本校の訪問教育に対するあたたかいご支援とご協力をいただいております。大変感謝しております。臼杵支援学校の校長としまして、より一層、関係機関の方々との連携を深めて、「社会に開かれた」学校でありたいと考えております。どうか末永いご協力をよろしくお願いたします。

# ★ぴかぴかぴかぴかぴかぴか★

新しく入られたスタッフをご紹介します。① お名前 ② 職種 ③ お住まい ④ 趣味 ⑤ 一言

## Meguminoseibo



- ① 亀川 紘明  
(かめがわ ひろあき) さん
- ② 看護師
- ③ 臼杵市
- ④ 映画をみたり、ドライブに出かけることです。車も好きで、よく洗車しています。ダイエットが目的で、筋トレをしたり、ジムに通って運動もしていました。
- ⑤ 3月に臼杵市に引っ越してきました。少しずつ利用者さんを知り、生活のお世話をしたり、看護師として自分にできることを見つけていきたいと考えています。



## い寄附

臼杵市社会福祉協議会さま・大分県共同募金会さま・株式会社そりんさま・安達宗好さま・野上幸雄さま・恵の聖母の家めぐみ会さま (順不同) ありがとうございます。

## おたより

ルルドの丘をいつも楽しく拝見しています。前号に「甲子園を夢見る息子」や「四姉妹」について書かれた職員さんの記事がありました。子育て中の私には、とても参考になりました。子育て中の私には、「おでかけ」では、とても楽しそうに過ごしている親子の写真に、「私も子どもを連れて、パークプレイスとか一緒にいきたいな」と羨ましく思っています。巻頭言や薬剤師の方のお話もとても勉強になります。読み終えたルルドの丘は全て綴じ、時々読み直しています。これからも楽しみにしています。

(ショート利用のママさん)

## 人事

- ▼新規採用  
二〇一九年 一月二日付  
看護師 亀川 紘明
- ▼異動  
二〇一九年 四月二日付  
ひかり病棟 看護主任 工藤 佳絵  
(前・地域連携室兼務)
- 保育士 加藤 昭子  
(前のぞみ病棟)
- 介護福祉士 小林 薫(〃)  
介護福祉士 成安 誠(〃)
- あゆみ病棟 生活福祉課主任 廣田由美子  
(前ひかり病棟)
- のぞみ病棟 保育士 後藤 祐子  
(前あゆみ病棟)
- 介護福祉士 芦刈 朝寿  
(前ひかり病棟)
- 看護助手 柳井 咲紀(〃)  
成安 陽子(〃)
- 児童発達支援センターめぐみ 作業療法士 岐部なつ美  
(前訓練課)
- 保育士 長野 祐子  
(兼外来保育)
- 相談支援事業所こころ 社会福祉士 嵯峨 武志  
(前生活福祉課)
- 昇格  
事務部長 絹川 忠  
訓練課主任 樋口奈菜美  
生活福祉課主任 河野 朋子
- ▼退職  
二〇一八年 十二月三十一日付  
看護師 石本 直子  
二〇一九年 三月三十一日付  
看護師 板井 美佳  
事務員 後藤宗弘人
- ▼嘱託  
二〇一九年 三月三十一日付  
看護師 若杉 智子  
保育士 倉本 恵子  
看護助手 廣田富美子

## ◇各ご連絡・ご相談先

発達外来 (初診受付) …0974-32-7778	児童発達支援センターめぐみ…0974-32-7784 保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイ・生活介護
相談支援事業所こころ…0974-32-7788	訪問看護あんな・地域連携室…0974-32-7667
外来保育きずく…0974-32-7778	恵の聖母の家 (代表) …0974-32-7770

## 新年度臼杵支援学校年間行事

- 4月26日 歓迎遠足
- 4月27日 PTA
- 5月25日 運動会
- 6月17日 線替休業日 (4/27 PTA)
- 7月3日 PTA (予定)
- 7月19日 終業式
- 8月29日 訪問始業式
- 9月3日 PTA (予定)
- 10月26日 スマフェス (文化祭)
- 12月6日 PTA (予定)
- 12月24日 終業式
- 1月8日 訪問始業式
- 3月3日 卒業式 (予定)
- 3月24日 終業・修了式

※始業式・終業式は本校の日程です。  
訪問の始業式・終業式は別途、関係者にお知らせします。

本校の子どもたちの様子は、学校ホームページで随時、掲載しています。昨年度は百六十件以上、記事をアップしました。こちらもご覧いただけると嬉しいです。

臼杵支援学校の年間行事を簡単に紹介しておきます。

(お知らせ)  
スクールバスが二台とも新しくなりました。色鮮やかなボディになっています。「恵の聖母の家」に伺うのは、リフト付きバス(左写真)です。

窓ガラスにはスモークが入っていて、子どもたちの表情は外からは見えづらいたすが、手を振っていただけるとありがたいです。気が付いた子どもたちはきつとあいさつを返してくれると思います。



# 行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊦…個別面談  
㊧…権利擁護・虐待防止部会 ㊨…全体朝礼 ㊩…労働安全衛生委員会  
㊪…リスクマネジメント部会 ㊫…入浴日

2019年5月			6月			7月			8月		
1	水		1	土		1	月	㊫	1	木	㊧
2	木	㊫	2	日		2	火	㊨	2	金	㊫
3	金		3	月	㊫	3	水	㊫	3	土	
4	土		4	火	㊨	4	木	マルシヨク臼杵㊦	4	日	
5	日		5	水	㊫	5	金	㊫	5	月	㊫
6	月		6	木		6	土		6	火	㊨㊫
7	火	㊨㊫ ㊫	7	金	㊫	7	日		7	水	㊫
8	水		8	土		8	月	㊫	8	木	
9	木	㊧	9	日		9	火	㊫㊩	9	金	㊫
10	金	㊫	10	月	㊫	10	水	㊫	10	土	
11	土		11	火	㊫㊩	11	木		11	日	
12	日	ルルド祭	12	水	㊫	12	金	㊫	12	月	㊫
13	月	㊫	13	木	㊧	13	土		13	火	㊫㊩
14	火	㊫㊩	14	金	㊫	14	日		14	水	㊫
15	水	㊫	15	土	ふれあい運動会	15	月	㊫	15	木	聖母被昇天ミサ㊪
16	木	佐野植物園 ㊪	16	日		16	火	㊫	16	金	㊫
17	金	㊫	17	月	㊫	17	水	㊫	17	土	
18	土		18	火	㊫	18	木	パークプレイス㊪	18	日	
19	日		19	水	㊫	19	金	㊫	19	月	㊫
20	月	㊫	20	木	道の駅清川 ㊪	20	土		20	火	㊫
21	火	㊫	21	金	㊫	21	日		21	水	㊫
22	水	㊫	22	土		22	月	㊫	22	木	
23	木	臼杵石仏	23	日		23	火	㊫ ㊦	23	金	㊫
24	金	㊫	24	月	㊫	24	水	㊫	24	土	
25	土		25	火	㊫ ㊦	25	木		25	日	
26	日		26	水	㊫	26	金	㊫	26	月	㊫
27	月	㊫	27	木		27	土		27	火	㊫ ㊦
28	火	㊫ ㊦	28	金	㊫	28	日		28	水	㊫
29	水	㊫	29	土		29	月	㊫	29	木	
30	木	臼杵石仏	30	日		30	火	㊫	30	金	㊫
31	金	㊫				31	水	㊫	31	土	

※予定変更の場合があります。 ※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。

## 編集後記

このルルドの丘について、関係者から感想をいただきました。ありがとうございます。さっそく、11頁で紹介させていただきました。これからもいろんな声が寄せられたらと思います。元号が平成から令和に変わりました。感謝でいっぱい時代になればと思っています。これからもよろしくお願ひ申し上げます。